

# 平成27年度第4回花巻市大迫地域協議会

## 会 議 録

日 時：平成27年9月30日（水）午後1時30分～午後2時30分

場 所：花巻市大迫総合支所 2階大会議室

### 会議次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 説明及び審議

① 大迫多目的広場（旧カントリープラザ跡地）再整備方針について

② 市町村合併の検証について

③ その他

4 その他

5 閉 会

出席者

委員15名中13名出席

委員区分	団体及び役職名	委員氏名	住 所	出 欠
(1) 公共的 団体が推薦 する者	花巻農業協同組合 女性部大迫支部長	菊 月 美智子	亀ヶ森	○
	花巻市大迫町森林組合 大迫事業センター フォレストリーダー	小 松 正 幸	内川目	○
	花巻商工会議所大迫支部 会長	山 影 義 一	内川目	欠
	花巻市社会福祉協議会 大迫支部 支部長	佐 藤 格	亀ヶ森	○
	花巻市大迫地域区長会 会長	藤 原 秀 基	内川目	○
	大迫地区コミュニティ 振興会 副会長	村 田 俊 樹	外川目	○
	内川目コミュニティ会議 会長	伊 藤 修 悦	内川目	○
	外川目地区コミュニティ 会議 会長	佐々木 政行	外川目	欠
	亀ヶ森地区コミュニティ 会議 会長	高 橋 正 克	亀ヶ森	○
(2) 学識経験を有する者		小 松 健次郎	内川目	○
		浅 沼 雅 代	大 迫	○
		菅 原 美智子	大 迫	○
		佐々木 一 夫	内川目	○
		松 坂 一 人	外川目	○
		菊 池 忠 久	大 迫	○
(3) 公募による者		なし		—

大迫総合支所

大迫総合支所長	藤 原 宏 康
地域振興課長	小 国 朋 身
市民サービス課長	佐 藤 富次男
地域支援室地域支援監	藤 原 正 己
地域振興課課長補佐（建設担当）	浅 沼 文 博

地域振興課課長補佐（産業担当） 中 村 陽 一  
地域振興課主任主査 阿 部 靖  
地域振興課上席主任 瀬 川 寿 和

1 開 会 （進行） 大迫総合支所地域振興課 課長 小 国 朋 身

会議に先立ち、出席委員の状況について報告

委員 15 名中 13 名の出席で、委員半数以上の出席があるため、開催条件は満たすことを報告。

（花巻市地域自治区設置条例第 9 条第 2 項）

〈 内容については、記載を省略 〉

2 会長あいさつ

大迫地域協議会会長 佐々木 一 夫

〈 内容については、記載を省略 〉

3 説明及び審議 （進行） 大迫地域協議会会長 佐々木 一 夫

〈 内容については、記載を省略 〉

（会長）

それでは、（1）の大迫多目的広場（旧カントリープラザ跡地）再整備方針についてのご説明をお願いいたします。

（中村地域振興課課長補佐）

大迫多目的広場（旧カントリープラザ跡地）再整備方針について説明。

〈 説明内容については、記載を省略 〉

（会長）

確認ですが、このカントリープラザについての協議は、今日が最後ということになりますか。

（中村地域振興課課長補佐）

ご意見をいただくのは今日が最後ということになりますが、内部協議を経ましてこういった結果になりましたというのは次回の地域協議会で報告をさせていただきたいと思っております。

（会長）

今日が最後の意見を言える機会だと捉えてお願いいたします。確認ですが、この間までに出た意見、説明があった部分の意見として了解するというところでよろしいですね。

（小国地域振興課長）

今まで、地域住民とか第 3 回の地域協議会等で意見をいただいておりますので、今日の意見も併せて内部協議をして市長協議を行うということになります。

（会長）

今の件も踏まえて、質問、意見をお願いします。

（菊池委員）

前回、私は多目的利用をするのであればアスファルトの方がむしろ良いのではないかという意見を出したのですが、今回の図面をみると芝生だということです。オリンピックの追加種目の中にクライミングとスケートボードが入った訳です。クライミングは大迫体育館にあります。今後、スケートボードというのは若者の中でかなり流行っていくのではないかと思います。日居城野公園に 2、3 年前に作ったわけですが、県内に 4 箇所くらいしかないのですが、これがオリンピックの追加種目になってくるということであれば、大迫で先取りをして旧カントリープラザをアスファルトにして設置してはということです。スケートボードであれば

新たに後付けで設置できるわけです。若者達がスケートボードをできる形にすれば、新たな追加種目のクライミングとスケートボードが大迫でできるという、一つのアピールができるのではないかと思います。

ということで、私は芝生だと多目的利用なスポーツもできないし限られてしまうのではないかと思います。むしろ、アスファルトの方が色々なスポーツイベント等を考えると多目的に活用できるのではないかと思います。

(中村地域振興課課長補佐)

大迫多目的広場（旧カントリープラザ跡地）再整備方針について補足説明。

〈 説明内容については、記載を省略 〉

(松坂委員)

トイレについてはどうなっているのでしょうか。

(中村地域振興課課長補佐)

トイレにつきましても、当初は産直の方に市で設置しているトイレを活用できないかということで、当初の図面にもなかったです。ですが、トイレは必要ではないかという声が非常に多くなっていますので、反映できる分はしたいということで検討したいと思います。

(会長)

トイレについては、ぜひよろしく願いいたします。

それから、スケートボードというのは、どれだけの面積が必要なのでしょうか教えてください。

(菊池委員)

色々な障害をセッティングします。ですから、テニスとか野球みたいに決まった面積の中でやるものではありません。実際、盛岡と雫石と花巻ぐらいしかありません。ですから、ここにセッティングをすれば、遠野、北上など県南からも来るのではないかと思います。そういった形で、大迫の方が来やすいのではないかと思います。

(会長)

大迫の立地条件も含めてということですので、ぜひその辺も含めて考えていただきたいと思います。

(佐藤委員)

私は、3番と4番を意見として申し上げます。背景としては、ワインまつりとかそういった部分も含めての活用も可能ではないかと思っております。今後もレストランベルンドルフ、エーデルワイン工場等との連携を図っていく必要があります。それで、大迫として葡萄の産地であることを強力にアピールしていくには、エーデルワイン工場、ふるさとセンターの駐車場には大型バスが入るには非常に困難な状況なので、大型バスのスペースを多く取り、大迫に来る人達の対応を考えていけるのではないかという見通しのもとにこの意見を出しました。

あと、産直センターの駐車スペースがですが、今現在、大型バスが入ったりすると非常に混雑しているという状況です。この様な背景からすると、ここは交通の要衝な所に駐車場があるので、誘客のためには大迫にはない広さの駐車スペースをとって、レストランとワイン会社が連携をとって営業していくということになると、どうしても対外的には駐車スペースが大切になってくるということから、3番と4番を提案させていただいたところです。ワインの産地等に行ってみると、工場だけではなくレストランとか食事をとれるところと一体となった環境が他のぶどう産地には多く見られます。大迫も立地条件は悪いのですが、わざわざ大迫に来てエーデルワイン工場を見て帰るのではなくて、食事もとって、産直にも立ち寄るといった、その

周辺一帯で欠けているのは、大きな駐車場ではなかったかなと思います。そのようなことを解消するためということも含めますが、町内も含めますが町外から来る客に対応できるスペースを整備するという事です。その際には、車が自由に入れる、得にもバスが簡単に出入りできるよう駐車場の出入口も改良しながら、トイレも付けてということが必要ではないかと考えてお話ししたところです。

(小国地域振興課長)

確かに、ぶどうの丘の来客を考えた場合に、産直の駐車場も狭いということも重々感じておりましたので、この機会にこの場所に大型バスも入ることができる駐車場を整備する、更にはエーデルワインの方にも大型バスが入って停めておくことが難しいので、一旦客を降ろしてから駐車場に入れていただくということを考えております。つまり、ぶどうの丘全体の駐車場として利用したいということであり、佐藤委員がおっしゃっているとおりのを考えております。

(会長)

ある団体の視察で、天童市に行ってぶどう穫りをしました。そこには大型バス10台分のスペースがありました。ワイン工場も何もない、単にぶどう穫りをする施設があるだけでした。それだけの面積があるわけで、大迫のような山の中ではないわけですがけれども、そのように整備されていました。

よって、大迫のぶどう振興の施設、多目的広場の駐車場、産直の駐車場として考えるのであれば、産業の発展と考えれば、当然、よそから来られる方が自由に使い、自由に乗り降りできるスペースがあればよいと思っております。

(藤原委員)

この野外スペースを作り広場を整備する第一の目的はワインまつりの会場ということだと思うのですが、それにプラスしていろいろな利用を考えるのは良いとは思いますが、やはり、ワインまつりの会場が無くなって困っているという部分を中心に考えなければ前に進めないのではないかと思います。

それで、この間のワインまつり会場ですが、土がぐちゃぐちゃしていて大変でしたので、あのような状態をなくするということが一番大事なことだと、あれではお客さんを呼ぶには大変困った会場だと思います。それで、この芝生広場のところですが、土の上に人工芝を敷くのかどうか、土の上に人工芝だとだめだと思います。舗装の上に人工芝を敷いても構わないと思います。ただ、費用対効果で無駄な経費だと見る人もいるかもしれませんが、いずれ、そういった状態を解消することをお願いしたいと思っております。

それから、野外ステージの後ろに倉庫がありますけれども、どの程度の倉庫なのか分かりませんが、色々なイベントを行うための野外ステージだと思います。バンドグループのコンサートとか、神楽もですが、着替える場所が倉庫だと物がいっぱい入っていれば着替えるスペースがないということがありますので、ある程度の着替えができる場所もセットしていただきたいと思っております。後は、周りに駐車場があればあるにこしたことはないと思っておりますし、いずれ、ワインまつりを中心に考えているのではないかとこの部分を前提として意見を申し上げました。様々な要望、意見が出されると思っておりますが、基本的な線を押さえて意見を徴収した方がよいと思っております。

(中村地域振興課課長補佐)

一つ目の人工芝の下がアスファルトか土かということですが、現在は浸透性のあるアスファルトというか土ではなくて、雨が降ったら浸透して残らない構造ということで考えております。

ここの広場について、今回考えている主要なテーマはワインまつり会場ということ念頭においておりますので、ステージもあります。芝広場と書いているところの広さは、今回のワインまつりでテントをかけたスペースとほぼ同程度のスペースを芝広場というイメージで提案させていただいております。

あと、倉庫につきましては、ステージでイベントを行う場合にはある程度余裕をもったものにしたいと思っておりますし、控室とか着替えをするスペースにつきましても倉庫を2段にするとかそういったことも考えていますので、そういったスペースも確保したいと考えております。

(松坂委員)

先ほどトイレの話をしたのですが、あそこは道の駅だという感覚があつて夜に行ったのですが、産直が閉まれば閉まってしまうのです。そうすると、やはりトイレは必要になると思いません。

(菊月委員)

産直施設のトイレについては、一度いたずらをされたそうです。それで鍵をかけるようになったそうです。

(藤原総合支所長)

トイレにつきましては、色々ご意見を頂いておりますが、夜間に開けておくのであれば管理上どうか、防犯上どうかといった問題も出てくるのだらうと思っております。市では色々な公衆トイレを整備しておりますのでそういった状況も鑑みながら、設置後の管理も踏まえて検討していかなければならないと考えております

(藤原委員)

防犯上とか、いたずらをされたらとか考えていると作れないと思えます。犯罪を防止するには防犯ビデオを設置するとか、色々な方法があると思えます。

確かに町場の方とか色々なところで、トイレの中で様々な事件があつたということは耳にしますけど、そのことばかり考えていたのでは自由に使える使いやすいトイレなんてできないと思えます。ですから、そういうことがあつた時には運が悪かつたと思って諦めるしかないと思ひ、転ばぬ先の杖をついて事業をするのでは何もやらない方がよいという結論になると思ひます。やはり公衆トイレは、今まで産直のトイレでいたずらがあつたとしてもそれはそれで対応しなければいけない、いずれ自由に使えるトイレがないといけない、まずトイレは必要だと思ひます。あと、着替える場所も必要だし、ステージは雨が降つても屋根や横板も必要だと思ひます。そういった部分について、いたずらをされるということを考えないで作っていただきたいと思ひます。

(会長)

今の意見は大事に受け止めたいと思ひます。

以上の意見を付して、本協議会としての旧カントリープラザの跡地再整備方針についての協議を終了し次に進みます。

次の市町村合併の検証についての説明をお願いします。

(小国地域振興課長)

市町村合併の検証について説明。

〈 説明内容については、記載を省略 〉

(会長)

今の事務局の提案のとおり、合併後の検証について次回の会議までにご提案いただくことにしたいと思ひます。

(菊池委員)

この合併の検証をまとめて、これをどのような形に整合させて処理するのでしょうか。

(藤原総合支所長)

まち・ひと・しごと総合戦略とか人口ビジョンなどの合併特例債の延長となるものについては、合併に絡んで新たな新市建設計画も考えなければいけないというようなこともあるようです。いずれ、10年という合併の節目を迎えてこの合併がどうだったのかということ振り返りそれによってどんな課題があったか、どういう状況かを把握することが大事だということで、4地域からそれぞれ意見をいただいているところです。お手元に配布したとおり、各地域で1回は行っておりますが議論が尽くされたという状況ではありません。もう少しきちんと整理した段階でこれまでの検証をまずしていきたい、それを踏まえてそれを今後解決するにはどうするかを考えていかなければならない、新たな新市建設計画も絡んでくる、それから人口ビジョンにもリンクしていこうということもあります。先ほど会長からお話があったように、色々な部分で関連していくものと思います。まず、純粋に合併してどうだったかということの整理から始めたいということで進めさせていただきたいと思います。

(会長)

何も立派なことではなくて良いということ、思ったとおり書いてくださいということでございます。これがスタートとなり、まちづくりのハード部分になってくるのではないかと思いますので、土台としての合併の課題みたいなものをまとめていきたいということです。

#### 4 その他

(小国地域振興課長)

ベルンドルフ市・花巻市友好都市提携50周年記念事業について説明した。

〈内容については、記載を省略〉

#### 5 閉会 (小国地域振興課長)